



インバウンド推進
山本 美里
Misato Yamamoto

出身 千葉県市川市
所属 かほくらし社
任期 R7.3~

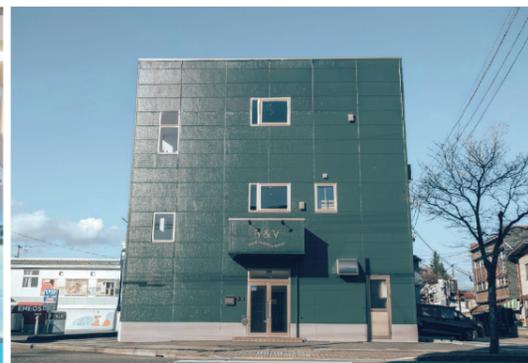
活動紹介1

ホテルの運営による 河北町への誘客

1.観光滞在の魅力づくり

令和7年6月に河北町にオープンしたホテル「Bed&Vegetable Kahoku」にて勤務しています。ホテル運営を通じて、河北町の“日常の魅力”を観光資源として再編集しています。「新鮮で美味しい食材」「農業や手仕事」「人との関わり」「四季の景色」などを滞在体験の中に組み込み、なにげない宿

泊から河北町を感じられる宿泊プランを作成しています。公式HPや予約サイトでの情報発信、定期的な更新、体験プログラム(収穫体験・酒蔵見学等)の参加調整や受入対応まで一体的に行い、宿泊を入口に町の周遊と理解が深まる仕組みをつくっています。



2.交流拠点づくり

ホテルを“泊まる場所”にとどめず、旅行者と町の人々が交わる地域のハブとなるよう活用の試行錯誤をしています。令和7年度は、宿泊の方向けに、芋煮会や地元事業者さんによる出張イベントなどを実施しました。近隣の方向けには、朝食会やランチ会、ラウンジの開放等を実施しました。こうした取り組みを継続し、旅行者も近隣の方も気軽に訪れられる場としての認知を広げ、観光と暮らしが交差する場所づくりを進めていきます。

3.インバウンド受入と展開

海外旅行者の受入対応を行いながら、河北町へのインバウンド誘客の基盤づくりに取り組んでいます。令和7年度は、ホテルでの多言語対応や海外旅行者への旅行動線のヒアリング、海外インフルエンサーの受け入れ等を実施しました。現在、海外旅行会社との連携によるツアー造成の検討など、将来的な誘客拡大を見据えた活動も進めています。今後は、町全体の観光戦略と連動し、地域として選ばれる目的地づくりを目指してまいります。



Q.協力隊になったきっかけは?

A.2泊3日のお試し移住をした際に、美味しいお鍋をごちそうになったことです。

Q.河北町の好きなおところは?

A.人の温かさ、四季折々移り変わる景色と空気です。

今後の抱負

河北町ならではの 観光目的の創出と集客

温かさや気づきの循環そのものを旅の目的として育み、国内外からその価値を求めて町を訪れる人が増えるように、場所づくりをしていきたいです。